



いくた  
神奈川県立 生田高等学校



所在地：川崎市多摩区長沢3丁目17番1号 〒214-0035

電話：044(977)3800

FAX：044(976)9398

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ikuta-h/>

創立：昭和44年1月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

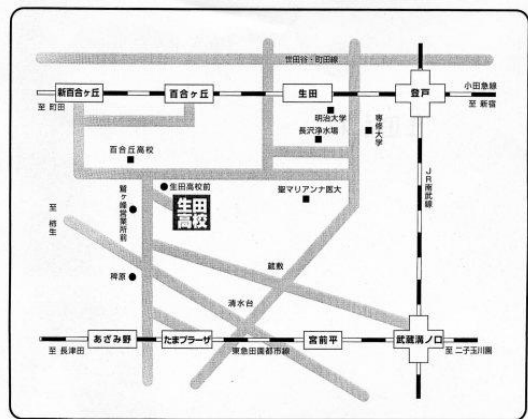
	1年	2年	3年	計
普通科	359	395	352	1106
学級数	9	10	9	28

(生徒、学級数については令和6年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 小田急線新百合ヶ丘・百合ヶ丘駅より  
小田急バス「聖マリアンナ医科大学」行き「生田高校前」下車5分
- 小田急線生田駅より  
市営バス「鷲ヶ峰営業所」行き終下車5分もしくは「宮前平駅」行き「生田高校前」下車5分
- JR南武線武蔵溝ノ口駅より  
市営バス「鷲ヶ峰営業所」行き終下車5分もしくは「聖マリアンナ医科大学」行き「鷲ヶ峰営業所前」下車徒歩5分
- 東急田園都市線宮前平駅より  
市営バス「生田駅」行き「生田高校前」下車5分



## 教育活動の特徴

### 【校風】

生田高校が多摩丘陵の一角に校舎を構えてから、50年以上の歳月が流れました。4万㎡の広々とした校地に植えられたイチョウを始めとする木々は緑豊かに成長し、四季折々の草花と共に学校生活に彩りを添えています。

本校の校章は二枚のイチョウの葉で創立の精神である「自由と規律」を象徴しています。

のびやかで規律正しい校風の下、高い目標、文武両道・文理両道、自学自習、協働、ICTの相乗効果により、「不確実で複雑な時代を生き抜く主体的な意思のある自立した『個』を育成することを教育目標に掲げています。また、令和4年度から理数教育推進校の指定を受け、文系・理系に偏ることなく科学的・論理的な思考力・判断力・表現力、問題発見・解決能力などを「他者との協働」の中でトータルに伸ばす教育活動を展開しています。

本校は50周年の節目を迎えたのを機に、制服が新しく生まれ変わりました。校舎の耐震工事が完了し、トイレ・自習室の整備など教育環境も整備されました。伝統を大切にしながら良いものを積極的に取り入れ、生田高校は常に進化しています。



令和元年度からの新制服

### 【教育課程】

本校は3学期制で、個性を伸ばし多様な進学の希望を実現するために、充実した教科指導を行っています。

国公立大学進学を視野に入れ、大学入学共通テストに対応したシンプルで必要十分なカリキュラムを編成しています。3年生では、各自の進路に応じた科目が選択できるように、必修選択科目のほか、自由選択科目を設けています。各教科では、大学入試に対応した「探究」という科目を置き、多様化した大学入試に対応し、それぞれの進路にあわせた学習ができます。

日頃の学習活動が結実し、令和5年度も多くの生徒が国公立・難関私立大学に合格しました。

また、学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」を実践し、各教科・科目では「問題解決型協働学習」が行われています。

本校では、旧自然科学コース(平成28年度まで設置)が培ってきた幅広い学習活動を継承し、海の生物観察会やムササビ観察会、箱根フィールドワーク、森林ボランティアなどさまざまな自然体験教室を実施しています。

### 海の生物観察会



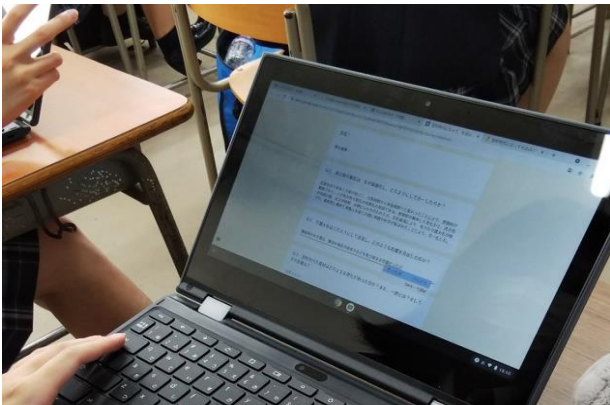
### 【生田×理数教育×ICT】

生田高校は令和4年度から「理数教育推進校」に指定されました。「総合的な探究の時間」と日々の授業を通して、「文理両道」の視点で文系生徒も含めて科学的・論理的思考能力を育成する教育を推進し、問題発見・解決能力のさらなる向上を目指しています。

また、生田高校は令和3年度まで「ICT利活用教育推進スーパースクール」「ICT利活用授業研究推進校」、パナソニック教育財団の「特別研究指定校」に指定され、令和3年度まで「ICT利活用授業研究推進校」に指定されていました。

令和4年度から「一人一台端末」が本格的に導入されましたが、「ICT利活用授業研究推進校」としての実践を継続・発展させ、「主体的・対話的で深い学び」につなげています。

### 一人一台端末を活用した授業風景



### 【未来を体験する】

生田高校では明治大学との高大連携を実施しており、理工学部・農学部の専門的な内容を高校生向けにアレンジした講義に参加します。1年生は、全員が年間最低2回の講義に参加し、規定回数を受講した生徒には、提出したレポートなどの審査を経て、校外講座として1単位が認定されます。高大連携では、実際に大学の講義を受講することにより、大学の教育内容に対する理解を深め、大学進学に向けた意識向上を図っています。令和5年度の講義のテーマは「脳の“なぜ?”と情報科学」、「コロナ禍のアメリカ：大統領選挙からBLMまで」、「建築と構造の教室」などで、多彩な講義内容でした。

### 学校行事

1学期には1年生を歓迎する一迎会、校外学習、応援合戦などで盛り上がる体育祭、クラスマッチが行われます。2学期には文化祭「银杏祭(ぎんなんさい)」、修学旅行(2年生)が行われ、3学期には3年生を送別する三送会、クラスマッチなどがあります。

### 文化祭風景



修学旅行では体験学習を中心としたプログラムを組んでいます。令和5年度は沖縄で文化・産業について体験学習を行いました。

生田高校では生徒の主体性が重んじられます。学校行事は生徒の企画・運営のもとに行われ、意欲ある生徒が積極的に活躍しています。

### 部活動

生田高校では、80%以上の生徒が部活動に所属し、熱心に活動してそれぞれ成果をあげています。令和5年度はコロナ感染に注意しながらも、多くの部活でほぼコロナ禍以前の活動を行うことができました。

令和5年度の実績として、男子ハンドボール部が関東大会県予選第6位、科学部が京都大学主催の森里海シンポジウムで企画賞受賞、書道部がJA共済神奈川県書道コンクールで神奈川新聞社賞受賞等の成績を収めています。

生田高校では、一人ひとりの生徒がひたむきに活動に取り組み、活気ある学校生活を送っています。皆さんも意欲を持って参加し、共に汗を流し、友情を深めましょう。